

「人口の特色をとらえよう」を題材に

地理的技能を身につけ、地理的な見方・考え方を育てる指導の工夫

群馬県桐生市立新里中学校 竹市 富夫

1 第24回関東ブロック群馬大会での提案

10月27日（金）に行われる関東ブロック群馬大会の研究主題は「確かな学力を育てる社会科教育の展開」であり、地理的分野の主題は「地理的技能を身につけ、地理的な見方・考え方を育てる指導の工夫」である。

大会開催地区である桐生市・みどり市社会科部会でも、県の理論研究をもとに授業づくりに励んでいる。主題を以下のようにとらえた。

地理的技能とは

①**地理情報**（地域に関する情報をさし、地理的事象を読み取ったり、地域的特色に結びつく事象を見つけ出したりできる資料）の活用に関する技能

②**地図の活用に関する技能**

地理的な見方とは

地理的事象を位置や空間的広がりの中でとらえ、規則性や傾向などをとらえること

地理的な考え方とは

地理的事象がなぜ見られるのか、その背景や要因を地域の環境条件や人間とのかかわりに着目して追究すること

そこで、本題材「人口の特色をとらえよう」では、地理情報の活用に関する技能を身につけるために、世界や日本の人口に関する地域的特色をとらえる手がかりとなる地理的事象を新聞記事や統計資料などから見出し、グラフ化する活動を行う。さらに、地図の活用に関する技能を身につけるために、統計資料から見出した人口密度や人口分布

を白地図に記入し考察する活動を行う。これらの活動を「地理的技能を身につける活動」として考える。また、世界的視野からみた日本の地域的特色を人口の面から追究し、日本の人口移動の特徴や少子高齢化の現状や過密過疎の問題点を考察する活動を通して「地理的な見方や考え方」を育てることにつなげたいと考えた。

2 指導過程の工夫

(1) 世界の人口の変化の特徴は？（導入）

最近の新聞報道などから世界の人口爆発と日本の人口減少社会の資料を紹介し、人口に対する興味・関心をもたせる。その後、年代ごとの世界人口の変化や1950年代以降の地域別人口の変化のグラフの作成を通して、人口爆発の特徴をとらえさせる。

(2) 日本の人口の変化の特徴は？

統計資料を活用して、日本の人口変化のグラフを作成させる。また、人口ピラミッドの読み取りや各国の形の比較を通して、日本の少子高齢化の実態をとらえさせる。

(3) 日本の人口分布の特徴は？

「人口密度」「人口増加率」「老年人口割合」の読み取りや、年代ごとの変化を白地図に色塗りする作業活動を通して、人口の大都市圏集中や人口移動の特徴をとらえさせる。

(4) 過密・過疎地域の特徴は？

「人口密度図」「産業別人口グラフ」などの読み取りを通して、過密・過疎地域のそれぞれの良さや問題点をとらえさせる。

(5) 過密・過疎に対する地域の取り組みは？

「おもな都市と過疎地域の分布」から、過密・過疎は全国各地で見られる共通性のある現象であることをとらえさせる。また、神奈川県横浜市と徳島県西祖谷山村の「人口ピラミッド」の比較を通して、生産年齢人口の違いをとらえさせる。さらに、再開発や若者定住促進事業などの資料から各自治体の対策についてとらえさせる。

(6) 自作の自己評価カードの活用

生徒の関心・意欲を伸ばすために、毎時学習終了時に自己評価と感想を記入させ、教師からコメントを添えて意欲の継続発展を図る。

3 まとめ

2004年度に実施した本県一斉学力テストの結果では「統計資料を読み取ったり、資料を関連づけて考えること」が課題となっている。その原因と

しては、今まで資料を丹念に読んだり、複数の資料を比較したり関連づけたり考えたりする活動の時間を設定・確保できなかったことが考えられる。そこで、10月の関ブロ授業公開時には、生徒が統計資料をもとにグラフ化・地図化する活動やそれを比較する活動を通して日本の人口の特色について見方や考え方を育てることを提案したい。

最後に、地理的分野ではもう一つ、1年生の題材「身近な地域の調査」～桐生市を調べよう～を公開することになっている。ここでも生徒の作成した統計図やグラフを関連づけて読み取ることと地理的な見方・考え方との関連を研究している。発達段階に応じた地理的技能の習得はどのようにしたらよいかなどを課題として取り組んでいる。関ブロ群馬大会でたくさんの方が本桐生市・みどり市を訪れてくださることを期待する。